

夏休み 子ども・中高生スペース

事業報告書



令和3年8月

狛江市教育委員会公民館

公民館居場所事業

夏休み 子ども・中高生スペース（実施概要）

1. 事業の目的・経緯

狛江市教育委員会では、学校における働き方改革の一環として、平成 29 年度から狛江市立学校における一斉閉庁の取り組みを進めている。取り組みを進めるにあたり、単に学校という一つの単位ではなく、「オールこまえ」として取り組んでいくこととしている。

このため、社会教育の現場を所管する公民館においても、夏季一斉閉庁期間中の「子どもの居場所づくり」に取り組むとともに、学校教育と社会教育の連携を強化するための機会と捉え、居場所事業を展開する。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 2 年度は事業を中止したが、令和 3 年度においては感染症対策を講じた上で実施した。

2. 実施期間

期間：令和 3 年 8 月 10 日（火）～13 日（金）

日時：10 時～17 時

3. 実施場所

中央公民館（市民センター内）

4. 事業概要

- ①学びのためのフリースペース
- ②遊びのためのフリースペース
- ③体験教室
- ④子ども食堂

5. 協力団体

こまえ学習サポートプロジェクト
狛江市シルバー人材センター
ごはんと居場所の連絡会

6. 広報活動

広報こまえ（7/15 号）掲載
狛江市教育委員会ホームページ掲載
チラシ配布（市内各小中学校へ家庭数を配布）

学びのためのフリースペース

- 日 時：令和3年8月10日(火)～13日(金)10時～17時
- 会 場：第一会議室
- 定 員：12人
- 参加人数：27人（4日間の延べ人数）



学びのためのフリースペースは、主に学生を対象とした自習スペースとして開放し、こまめ学習サポートプロジェクトに見守り員として協力いただいた。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策も含め、一人ひとりが勉強に集中できるよう、全員が教室の前方を向くように机を配置し、パーテーションを設置した。

参加人数は、4日間で合計27人であり、前回（H31年度）の5日間合計19人と比較して増加している。

参加者からは「この日だけなのか」「もっと開催してほしい」という声も上がっており、学生たちが勉強するスペースが強く求められていることを実感した。公民館の今後の事業展開としても検討していきたい。



遊びのためのフリースペース

- 日 時：令和3年8月10日(火)～13日(金)10時～17時
- 会 場：和室
- 定 員：20人
- 参加人数：83人（4日間の延べ人数）



遊びのためのフリースペースは、和室に遊び道具を用意し、誰でも自由に遊べるスペースとして開放した。狛江市シルバー人材センターに見守り員として協力いただき、また感染症対策として人数制限を行った結果、ケガ人等なく実施することができた。

遊び道具の充実を図るため、SNSで流行しているカードゲームを新たに購入したほか、小学校低学年や未就学児にも簡単に遊べるようけん玉や折り紙などシンプルな遊び道具も導入した。

参加人数は、4日間で合計83人であり、前回（H31年度）の5日間合計86人と比較すると一日の平均人数は増加している（H31年度：17.2人、R3年度：20.8人）。

参加者は、けん玉や折り紙で遊び、スクラッチアートに取り組み、カードゲームやボードゲームで友だち同士で対戦するなど、思い思いに楽しんでいた。

次年度以降は、複数人で遊べるおもちゃを増やすなど遊び道具の種類を充実させていきたい。



体験教室

今年度は、夏休み子ども・中高生スペース事業全体の集客も見込んで、子ども・親子向けの体験教室を企画・開催した。

一つの講座は中止となったが、他の講座については感染症対策を行い無事に実施することができた。

各講座後に実施した参加者アンケートでは、ほぼ全ての参加者から「大変良かった」と回答していただき、非常に満足度の高い講座が実施できた。また、公民館の講座に参加するのが初めてという方も多く、公民館へ関わる良いきっかけとなった。



消しゴムはんこに挑戦！

■日 時：令和3年8月10日(火)14時～16時

■会 場：講座室

■参加者：11人（保護者含む）

参加者が好きな絵・イラストを爪楊枝でほって消しゴムはんこを作り、自分だけのエコバッグを完成させた。自分の好きな色のスタンプで押して作ったエコバッグは、どれも彩り豊かで個性的な作品に仕上がった。

アンケートでは、「楽しかった」「またやりたい」などの声も多くいただき、充実した時間を子どもたちに提供できた。



子どもと楽しむ☆DIY講座

■日 時：令和3年8月12日(木)14時～16時

■会 場：美術工芸室

■参加者：親子5組（11人）

ペンキの塗り方や電動ドリルの使い方を講師から丁寧に教えてもらい、保護者が子どもをサポートしながら親子で協力して1つの作品を作り上げた。

講師からは、DIYは自分自身で物を作るということだけでなく、自分が作ったものだから愛着が湧いて、物を大切にできる気持ちを育てることができることも教わった。



夏休み子ども絵手紙教室

■日 時：令和3年8月13日(金)14時～16時

■会 場：講座室

■参加者：13人（保護者含む）

講師が絵手紙の定義や筆の持ち方・顔彩での描き方等を指導した後、実際に、送る相手を決めて目の前のモチーフを基に絵手紙を作成した。

1枚では足りず複数枚描く子や、自分が描きたい物を持ってきて描いている子など、絵手紙のルールの中で自分と向き合っている体験事業となっていた。



子ども食堂

- 日時・場所：①8月11日(水)11時30分～13時 講座室
②8月12日(木)11時30分～13時 講座室
③8月13日(金)13時～14時 地下ホール
- メニュー：①豚どん(50食)
②夏野菜あまくちドライカレー(50食)
③手作りパンお持ち帰り(100人分)



前回に引き続き、市内の子ども食堂団体で構成するごはんと居場所の連絡会に協力いただき、子ども食堂を実施した。

学びや遊びのフリースペースを利用している子どもたちが、ごはんを食べに家に帰ることなく午前と午後を通して連続で参加することもできた。

11日の豚どん、12日の夏野菜あまくちドライカレーは50食ずつ用意し、13日は一袋に入った3種類のパンを100人配布した。「美味しかった」「元気が出た」という声もいただき、全日好評につき、ほぼ完食という結果となった。

なお、コロナ禍において公民館内では飲食を禁止しているが、国からの要請等を踏まえ、市の新型コロナウイルス感染症対策本部で子ども食堂の実施が認められたため、本事業において子ども食堂を実施することができた。



総 括

令和3年度は緊急事態宣言期間での実施となり、各会場で手指の消毒、検温、名簿記載のほか、学びのためのフリースペース・体験教室（DIY 講座）・子ども食堂では簡易パーテーションを設置した。また、遊びのためのフリースペースでは番号を記載したネームプレートに参加者の首にかけてもらうことで定員管理を行うなど、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期して事業を実施した。

感染症対策に敏感になりながら事前調整や準備で難航することもあったが、当日は、子どもたちが楽しそうに遊んでいる様子や夢中になって体験する姿を見ることができた。また、保護者や協力者からも喜びの声をいただいた。

コロナ禍だからこそ行き場のない子どもたちに居場所を提供することができ、意義のある事業を実施できたと感じている。

次年度以降においても今年度の取り組みを踏まえ、子どもたちに喜ばれる企画を考え、より充実した事業にしていきたい。

学ぶ



食べる



遊ぶ



体験



利用実績

◎全体利用実績

(単位：人)

	10日	11日	12日	13日	合計
学びの フリースペース	5	5	9	8	27
遊びの フリースペース	7	21	22	33	83
体験教室	11	/	11	13	35
子ども食堂	/	48	50	100	198

◎学びのフリースペース(内訳)

(単位：人)

	10日	11日	12日	13日	合計
小学生	1	0	2	3	6
中学生	3	4	6	4	17
高校生	1	1	1	0	3
その他(成人)	0	0	0	1	1

◎遊びのフリースペース(内訳)

(単位：人)

	10日	11日	12日	13日	合計
小学生	6	13	10	15	44
中学生	0	4	4	3	11
高校生	0	1	0	0	1
その他(幼児・成人)	1	3	8	15	27